

## 要請番号 (JL02124A42)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
カンボジア	G130 柔道		個別	交替 2代目	2年	・2024/3 ・2025/1 ・ 2025/2



### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

教育青年スポーツ省

#### 2) 配属機関名 (日本語)

カンボジア柔道連盟

#### 3) 任地 ( プノンペン都 カン チョロイ チャンバ ) JICA事務所の所在地 ( プノンペン都 )

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 ( 徒歩 で 約 0.0 時間 )

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1980年代に設立されたが、2017年に新たな運営委員のもとで再スタートすることとなった。現在は2名のコーチが毎日練習を行い、ナショナルチームの選手12名に加えて一般の練習生38名(うち22名は週に1日のみ)を指導する。ナショナルチームの練習は早朝と夕方の2回に分けて行われている(朝は5時から8時、夕方は16時から19時)。柔道隊員派遣の歴史は古く、初代は1960年代に遡る。内戦の影響で一時派遣は中断していたが、その後再開され、2021年11月までJICA海外協力隊員が活動していた。配属先の年間予算は、約\$15,000(教育青年スポーツ省より)。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

配属先には国内大会で選考された選手が所属しているが、他国で行われる大会にはほとんど出場できておらず、レベルは周辺各国と比べて格段に低かった。コーチにおいても講道館の段位を取得している者はほとんどおらず、最新の知識や技術を有していなかった。その後、2023年5月に東南アジア競技大会(SEA Games)がカンボジアで開催されたことで、個人戦で金メダル1つ、銀メダル2つ、銅メダル3つを獲得、団体戦では5位と、一定の成果を残すことができた。教育青年スポーツ省は、今後も、世界レベルの選手を育成する必要があると判断し、引き続きJICA海外協力隊の支援を要請することとなった。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

コーチと協力して、以下の活動を行う。

- ナショナルチームに柔道の効果的な指導を実践する。
- さまざまなトレーニング方法を紹介し、コーチの指導力向上を支援したり、トレーニングカリキュラムの作成を支援する。
- 柔道の普及へ取り組む。
- 可能であれば、柔道大会や審判に関する初歩的な講習会実施の助言を行ったり、マニュアルを作成する。

### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道場

### 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

・コーチ2名

活動対象者:

・練習生 12名(18歳以上のナショナルチーム選手)

・練習生 16名(12-17歳)、その他22名

### 5) 活動使用言語

クメール語

### 6) 生活使用言語

クメール語

### 7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

## 【資格条件等】

[免許]: (柔道三段)

[学歴]: ( ) 備考:

[性別]: (男性) 備考: 配属先の希望

[経験]: (競技経験)5年以上 備考: 経験に基づく活動が必要なため

[参考情報]:

・講道館三段以上の有段者

### 任地での乗物利用の必要性

不要

## 【地域概況】

[気候]: (熱帯モンスーン気候) 気温: (28~33℃位) [電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水道]: (安定)

## 【特記事項】